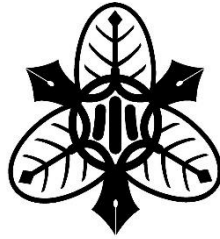


学校だより



学校教育目標

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって

主体的に考え行動する子供の育成

令和6年3月19日 第11号

文責： 校長 井 正成

57名の6年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

正面玄関わきのモクレンの花も咲き始め、本格的な春の訪れを感じます。

6年生の皆さん、そして、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。いよいよ3月21日（木）に57名の子供たちが内牧小学校を卒業します。

3月に入って、6年生を送る行事がいくつか行われました。学年縦割りの班活動では、5年生が企画したゲーム等を通じて6年生を送る「縦割り班フェスタ」が行われ、6年生と在校生が楽しいひと時を過ごしました。6年生は、この一年間、学校のリーダーとして低学年に対する目配り、気配りを、とてもよくしてくれました。卒業式には5年生のみの参加となりますが、4年生以下の子供たちも感謝の思いをもって6年生の門出を祝ってくれているものと思います。

また、先日は、読み聞かせボランティアの方から、6年生に対して「読み聞かせ」をしていただき、心温まるメッセージもいただきました。

さらに、創立150周年の横断幕を持つての記念撮影も行いました。

明後日は、一生の思い出に残るいい卒業式になるよう、職員一同で心を込めて6年生を送り出してあげたいと思います。

この1年間を振り返って

令和5年度も3月22日（金）の修了式をもって、すべての教育活動を終了します。本年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、これまで3年間にわたって制限されてきた教育活動が以前のように実施できるようになった1年間でした。

保護者や地域の皆様には、地域体験活動をはじめとしたさまざまな教育活動にご協力をいただき、子供たちも地域の人と触れ合いながら数多くの学ぶ機会を持つことができました。またその中で、多くの知識や経験を得ることができました。ご協力いただいた皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。

子供たちの1年間での成長はとても大きいものがあります。ぜひ、通知表（修了証）を確認しながら、1年間の頑張りに対するプラスの評価をしていただけたらと思います。

一方で、集団生活を送る中で、学校生活にうまくなじめなかったり、友達との関係でうまくいかなかったりした子供さんもいたかと思います。私たち教職員も情報を共有しながら未然防止や課題解決のための取組を行ってきたところですが、至らなかった点多々あったかと思います。学校としても課題となった点については謙虚に反省し、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましては、今後とも学校における子供たちへの指導について、ご理解をいた

だくとともに、家庭教育においても大切なことは機会あるごとに繰り返し指導していただければと思います。

特に、いじめの防止については、家庭でも日常的に子供たちに指導していただきたいと思います。学校では、人権教育を教育の根幹に据えて教育活動を行っているところであり、機会あるごとに「いじめを絶対してはいけない」ということを繰り返し指導しています。しかし、子供たちの実態を見ていますとまだまだ不十分であると感じています。

ぜひ、ご家庭でも「いじめは絶対にしない」ということを子供たちに言い続けていただきたいと思います。具体的には「仲間はずし」「暴言」「暴力」「冷やかし」「からかい」「SNS等のネット上への人を誹謗中傷する内容の書き込み」といった行為は絶対にしないということを、機会あるごとに、また、発達段階に応じて話していただきたいと思います。いじめに関することは、報道等で毎日のように見聞きするかと思います。そのような際に話題にするなど、子供たちに「いじめは絶対にしてはいけない」ことを子供たちの心に強く意識付けていただくようお願いいたします。

しかしながら、集団生活における人間関係の中で、子供同士のトラブル等が生じてしまうことがあります。そのようなときに私たち大人が、どう子供たちとかわかり、指導・助言するかが大切になります。学校でトラブル等が発生した場合は、状況に応じて、できるだけ迅速に保護者の方に情報提供を行いながら、ともに同じ方向を向いてより良い方向に解決していきたいと考えています。

最後になりますが、子供たち一人一人が将来の社会を担う大切な存在です。10年後、20年後、またその先の人生において、子供たちが、笑顔でいられるよう、また、社会で活躍していける人材となるよう、次年度も保護者の皆様と協力しながら子供たちを正しく導いていきたいと考えています。

令和6年度も内牧小学校の教育活動にご理解とご力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

人事異動により、数名の職員が内牧小を去ります。大変お世話になりました。

年度末の定期人事異動により、数名の職員が内牧小学校を去ることになります。

雄大な阿蘇五岳を眼前にできる素晴らしい環境の中で、力不足な点多々あったかもしれませんが、地域や保護者の皆様に支えられながら、子供たちの教育に取り組むことができました。大変にお世話になりました。転勤する職員は、温かい地域や保護者の皆様のご厚情を忘れず、内牧小学校で学んだことを、次の勤務地で出会う子供たちのために生かしていってくれるものと思います。